

宝飾ガラス infiora[®]が岡山市立オリエント美術館の特別展 「ガラスの想像力 色彩と煌めきの4000年」に展示

日本電気硝子株式会社（本社：滋賀県大津市 社長：岸本暁）が開発した宝飾ガラス infiora[®]を使用したティアラが、岡山市立オリエント美術館開催の特別展「ガラスの創造力 色彩と煌めきの4000年」に展示されます。

特別展では、北メソポタミアの貴石^{※1}の模造を意図したガラスの黎明から東アジアにおける独自の発展に至る約4000年にわたるユーラシアのガラスの歩みを一堂に展覧します。ティアラに使用した infiora[®]は、その中で最新の特殊ガラス技術を駆使して誕生したガラスとして、展示の最後に紹介されます。

日本電気硝子は日々、ガラスの持つ無限の可能性や魅力を追求し、特殊ガラスの研究開発を推し進めています。その中で生まれたのが宝飾ガラス infiora[®]です。infiora[®]は、ダイヤモンドに匹敵する輝きと透明度、そしてダイヤモンドを超えるファイア^{※2}をあわせ持つ、これまでにない宝飾ガラスとして、ブライダル業界を中心に事業展開しています。

infiora[®]特設サイトはこちら⇒<https://www.neg.co.jp/infiora/>

※1 貴石…宝石の中でも特に希少性のあるもの。

※2 ファイア…「虹色の輝き」を指す宝石用語。プリズム効果で、白色光が赤橙黄緑青藍紫の七色に分かれて見える現象を指す。

【特別展について】

会場：岡山市立オリエント美術館

会期：2024年9月14日（土）～2024年11月24日（日）

開館時間：午前9時～午後5時（入館時間は午後4時30分まで）

公式ウェブサイト：<https://www.city.okayama.jp/orientmuseum/>

以上